

## 平成 17 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

上場会社名 株式会社エフアンドエム

（URL <http://www.fmltd.co.jp/>）

代表者 代表取締役 森中 一郎

問合せ先責任者 取締役管理本部統括 杉浦 友泰

上場取引所 大阪証券取引所 ヘラクレス

（コード番号：4771）

TEL：(06) 6339-7177

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における : 無

認識の方法との相違の有無

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

公認会計士又は監査法人による関与の状況 : 無

## 2. 平成 17 年 3 月期第 3 四半期の業績概況（平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 12 月 31 日）

## (1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 3 月期第 3 四半期	2,633	( 2.0)	74	( - )	25	( - )	38	( - )
16 年 3 月期第 3 四半期	2,687	( 2.1)	16	( - )	70	( - )	84	( - )
(参考)16 年 3 月期	3,869	( 9.6)	184	(128.9)	67	(144.1)	92	( - )

	1 株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
17 年 3 月期第 3 四半期	3,434	68	-	-
16 年 3 月期第 3 四半期	7,488	35	-	-
(参考)16 年 3 月期	8,237	70	-	-

- (注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を表示しております。  
2. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## [ 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当社グループの第 3 四半期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）の連結業績は、売上高 2,633 百万円（前年同期比 2.0%減少）、営業利益 74 百万円、経常利益 25 百万円、当第 3 四半期純利益 38 百万円となりました。

売上高は連結子会社のチャレンジャー・グレイ・クリスマス株式会社の期首からの連結効果（前期第 3 四半期は下半期以降の加算）により再就職支援事業売上高は前期第 3 四半期より 51.6%増加したものの、エフアンドエムクラブ事業において、前期第 3 四半期は広告権収入（約 100 百万円）等の特別収入が発生したことに加え、不採算事業からの撤退等により当第 3 四半期連結売上高は前年同期比 2.0%の減少となりました。

利益につきましては、再就職支援事業のセグメント営業損失 134 百万円があったものの、アウトソーシング事業における、会員増および販管費等の削減効果等による利益率の改善が顕著となったことで、当第 3 四半期の営業利益、経常利益、当期純利益とも黒字転換することとなりました。

## (2) 部門別の売上高内訳

	17年3月期第3四半期 (当四半期)		対前年同期増減率	16年3月期第3四半期 (前年同四半期)		参 考 前期(通期)	
	金 額	構成比		金 額	構成比	金額	構成比
アウトソーシング 事 業	百万円 996	% 37.9	% 7.8	百万円 924	% 34.4	百万円 1,388	% 35.9
エフアンドエムクラブ 事 業	977	37.1	4.4	1,022	38.1	1,388	35.9
再 就 職 支 援 事 業	423	16.1	51.6	279	10.4	577	14.9
不 動 産 事 業	94	3.6	6.3	100	3.7	131	3.4
そ の 他 事 業	141	5.4	60.9	360	13.4	383	9.9
合 計	2,633	100.0	2.1	2,687	100.0	3,869	100.0

## 【アウトソーシング事業】

## ・記帳代行業業

アウトソーシング事業におきましては、引き続き会員獲得が順調に進む中、会員数増加基調をキープしてまいりました。また、今後の他業種への記帳代行を行う上で、生保営業職員以外の個人事業主及び小規模法人に対するマーケティングを引き続き進めるなど、会員数の増加に注力してまいりました。この結果、当第3四半期末(平成16年12月31日)の会員数は34,567人となり、前期末(平成16年3月31日)より4,701人の増加となり、当第3四半期のアウトソーシング事業における売上高は996百万円(前年同期比7.8%増)となりました。

## ・「Tax House」事業

当期より開始いたしました、「Tax House」事業につきましては、平成16年7月よりトライアル店舗をスタートさせ、同年12月より加盟説明会を開催するなど、今後の事業の柱とすべく注力してまいりました。実質、平成17年より募集を開始し、現在加盟希望者に対し順次個別説明を実施するなど、加盟の促進に努めております。当社では当連結会計年度(平成16年4月1日～平成17年3月31日)においての目標加盟数を30件とし、当期を次期以降の当事業の基盤作りと捉えております。当事業の加盟契約数は平成17年1月31日現在11件となっております。

## 【エフアンドエムクラブ事業】

エフアンドエムクラブ会員事業におきましては、経営計画作成等の支援によるサービスコンテンツの付加を進めるなど、会員増加に努めてまいりました。また、新規会員獲得ルートの多様化を目指し、地方金融機関や通信関連事業会社との提携を進めるなど、今後の会員増加に努めてまいりましたが、当第3四半期に効果を与えるまでには進捗せず、この結果、当第3四半期末(平成16年12月31日)の会員企業数は4,504社となり前期末(平成16年3月31日)より37社の減少となりました。

売上高に関しましては、新サービス等の効果により既存会員事業関連の伸長があったものの、前期に発生した広告権収入(約100百万円)などの特別収入を当期においてカバーすることができず、当四半期におけるセグメント全体の売上高は前年同期比4.4%減少の977百万円となりました。

## 【その他】

## ・再就職支援事業

再就職支援事業につきましては、前期はチャレンジャー・グレイ・クリスマス株式会社(以下チャレンジャー社)の連結子会社化の時期(平成15年9月)の影響により下期以降の連結効果であったことから、当第3四半期売上高は51.6%増加の423百万円となりましたが、再就職支援マーケットの一巡等によりチャレンジャー社個別の業績は実質減収となり、利益的にも営業損失(134百万円)を余儀なくされるなど、厳しい状況となりました。チャレンジャー社では再就職支援の新規受注や研修事業への注力に加え、固定費の削減などにより、体質向上の兆しが顕在化していることから、今後は更なるブランド力の訴求に努め収益の確保に注力してまいります。

## ・不動産事業

当第3四半期の不動産事業における売上高は94百万円となりました。  
なお、当事業での売上高は当社大阪本社が所在する、自社保有物件からの賃貸収入であります。

## (3) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	5,132	1,923	37.4	171,412 82
16年3月期第3四半期	5,699	1,908	33.5	170,137 47
(参考)16年3月期	5,141	1,913	37.2	170,579 27

## 【連結財政状態の変動状況に関する定性的情報等】

項目	17年3月期第3四半期	増減額	前期末
	百万円	百万円	百万円
(資産)			
現金及び預金	263	74	189
受取手形及び売掛金	535	65	601
たな卸資産	225	51	277
滞留売掛金	418	233	184
保険積立金	457	100	356
(負債)			
一年以内償還予定社債	129	69	198
未成業務受入金	172	86	258
長期借入金	176	52	228

- (注) 1. 項目ごとの変動額が総資産の1%を超えるものを記載しております。  
2. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
3. 現金及び預金の増加は、営業キャッシュフローの向上によるものです。  
4. 受取手形及び売掛金の減少は、売掛金の回収等の要因によるものです。  
5. たな卸資産の減少は、再就職支援事業における在籍者減少による未成業務支出金の減少が主な要因です。  
6. 滞留売掛金の増加は、流動資産その他に含まれる未収金からの振替によるものです。  
7. 保険積立金の増加は、保険加入によるものです。  
8. 一年以内償還予定社債の減少は社債償還によるものです。  
9. 未成業務受入金の減少は、再就職支援事業における在籍者減少によるものです。  
10. 長期借入金の減少は、長期借入金を返済したことによるものです。

## 3. 平成17年3月期の連結業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

## (業績予想に関する定性的情報等)

平成17年3月期通期（平成16年4月1日～平成17年3月31日）の連結および個別の業績予想につきまして、平成16年5月21日に公表した業績予想からの変更はございません。

## (1) 連結業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	4,068	191	32

## (2) 個別業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	3,245	151	32

上記予測は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上

1. 第3四半期連結財務諸表  
 (1) 第3四半期連結貸借対照表

区分	当第3四半期末 (平成16年12月31日)		前第3四半期末 (平成15年12月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
1. 現金及び預金	263,746		357,794	
2. 受取手形及び売掛金	535,315		631,807	
3. たな卸資産	225,420		303,389	
4. その他	204,307		414,061	
貸倒引当金	3,321		5,803	
流動資産合計	1,225,468	23.9	1,701,249	29.8
固定資産				
(1) 有形固定資産				
1. 建物及び構築物	1,108,633		1,154,106	
2. 機械装置及び運搬具	48		48	
3. 土地	729,631		729,631	
4. その他	115,281		156,230	
有形固定資産合計	1,953,594		2,040,016	
(2) 無形固定資産				
1. 営業権	150		2,799	
2. 連結調整勘定	113,344		116,619	
3. その他	130,579		249,012	
無形固定資産合計	244,074		368,431	
(3) 投資その他の資産				
1. 投資有価証券	199,155		201,912	
2. 長期貸付金			37,200	
3. 繰延税金資産	295,093		345,965	
4. 滞留売掛金	418,077		132,126	
5. 差入保証金	261,662		255,082	
6. 保険積立金	457,064		461,922	
7. その他	85,185		97,840	
貸倒引当金	57,413		32,740	

区分	当第3四半期末 (平成16年12月31日)		前第3四半期末 (平成15年12月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
投資その他の資産合計	1,658,825		1,499,309	
固定資産合計	3,856,494	75.1	3,907,757	68.6
繰延資産				
社債発行費	50,070		90,250	
繰延資産合計	50,070	1.0	90,250	1.6
資産合計	5,132,033	100.0	5,699,257	100.0
(負債の部)				
流動負債				
1. 支払手形及び買掛金	12,878		23,731	
2. 一年内償還予定社債	129,000		198,000	
3. 短期借入金	405,680		648,175	
4. 未成業務受入金	172,040		344,827	
5. 未払法人税等	41,068		8,392	
6. 賞与引当金	56,068		57,317	
7. その他	258,675		344,177	
流動負債合計	1,075,411	21.0	1,627,620	28.6
固定負債				
1. 社債	1,643,000		1,472,000	
2. 長期借入金	176,760		252,400	
3. 偶発損失引当金	44,745			
4. その他	80,759		142,034	
固定負債合計	1,945,265	37.9	1,866,474	32.7
負債合計	3,020,677	58.9	3,494,094	61.3
(少数株主持分)				
少数株主持分	188,104	3.7	296,220	5.2

区分	当第3四半期末 (平成16年12月31日)		前第3四半期末 (平成15年12月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
資本金	826,000	16.1	826,000	14.5
資本剰余金	1,044,700	20.3	1,044,700	18.3
利益剰余金	177,567	3.5	158,658	2.8
その他有価証券評価差額金	53,685	1.0	71,330	1.2
自己株式	71,330	1.4	49,085	0.9
資本合計	1,923,251	37.4	1,908,942	33.5
負債、少数株主持分及び資本合計	5,132,033	100.0	5,699,257	100.0

## ( 2 ) 第 3 四半期連結損益計算書

区分	当第 3 四半期 (自 平成16年 4 月 1 日 至 平成16年12月31日)			前第 3 四半期 (自 平成15年 4 月 1 日 至 平成15年12月31日)		
	金額 (千円)	百分比 (%)		金額 (千円)	百分比 (%)	
売上高		2,633,159	100.0		2,687,184	100.0
売上原価		982,751	37.3		752,487	28.0
売上総利益		1,650,407	62.7		1,934,697	72.0
販売費及び一般管理費		1,576,066	59.9		1,951,390	72.6
営業利益		74,341	2.8			
営業損失					16,693	0.6
営業外収益		8,999	0.4		22,520	0.8
営業外費用		57,651	2.2		76,400	2.8
経常利益		25,688	1.0			
経常損失					70,574	2.6
特別利益		8,327	0.3		46,326	1.7
特別損失		54,591	2.1		51,842	1.9
税金等調整前第 3 四半期純損失		20,574	0.8		76,089	2.8
法人税、住民税及び事業税	32,448			11,916		
法人税等調整額	17,536	14,912	0.5	16,219	4,302	0.2
少数株主損失		74,023	2.8			
少数株主利益					12,231	0.5
第 3 四半期純利益		38,537	1.5			
第 3 四半期純損失					84,019	3.1